



期間 令和6年5月24日(金)～令和6年7月19日(金) [全5回]

実施場所 いのちのたび博物館(北九州市立自然史・歴史博物館)
〒805-0071 八幡東区東田2-4-1 (28ページアクセス参照)

申込・問合せ先 生涯学習総合センター
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL:571-2735 FAX:571-0943

時間 13:00～15:00

応募締切

5月2日(木)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 3,000円
(別途材料代 1,500円)

受講生への
メッセージ

コーディネーター：北九州市立自然史・歴史博物館

豊前小倉地方では、江戸時代から大正時代にかけて、小倉織と呼ばれる綿織物が盛んに織られ、袴や帯として全国で愛用されていました。生活様式の変化などにより一度は消えてしまった小倉織でしたが、近年美しい縞模様で魅せられた人々によって再び織り始められています。

この講座では小倉織のたどった歴史を学ぶとともに、制作する過程を実際に体験し、将来的に小倉織の制作、伝承が出来る人材育成を目指しています。 ※別途材料代 1,500円

大和 恵子

福岡県北九州市小倉生まれ
1973年東京女子大学心理学科卒 1973年手織りの布の暖かさに惹かれ、織りを始める
1995年 公民館講座がきっかけで「小倉織」に出会い「豊前小倉織研究会」を発会、調査・研究と復元及び創作を始める
2004年 京都造形芸術大学美術科染織コース卒業

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	5/24 (金)	【講義】 小倉織の歴史 【実技】 綿織り、弓打ち、糸紡ぎの体験	大和 恵子 平山 路子 本村 由香
2	6/7 (金)	【講義】 天然繊維に触れる、染めについて学ぶ 【実技】 糸の藍染め、草木染実習	大和 恵子 野代 和子 米津 恭子
3	6/28 (金)	【講義】 小倉織の縞の特徴を学ぶ 【実技】 染色糸データ票作り、縞のデザイン、 紡ぎ車・はた織りの体験	大和 恵子 花田 眞理子 南里 宏美
4	7/5 (金)	【実技】 整経(自分がデザインした縞の経糸を準備) 織り(ミニ小倉を使って真田紐を織る)	大和 恵子 喜洲 朋子 中本 ひとみ
5	7/19 (金)	【講義】 小倉織を未来につなぐ 豊前小倉織研究会の活動紹介	大和 恵子 平山 路子 青木 陽子